



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4051 号 2017.12.1 発行



時津まんじゅうを天ぷらに 長崎新聞 2017年11月30日  
「時津寿まん天」を考案したレストランさきの料理長、泊清二さん。「天ぷら  
だけど中は甘いという意外性がお薦め」という=時津町西時津郷

西彼時津町の名物、時津まんじゅうを天ぷらにしたスイーツを、  
社会福祉法人時津町手をつなぐ育成会（山内俊一理事長）が商品化  
した。12月から「時津寿（ことぶき）まん天」とネーミングして  
販売、新たな名物化を狙う。

このスイーツは市販の時津まんじゅうをごま油で揚げたもの。今  
年1月ごろ、同会が運営する「レストランさきの」の料理長、泊清  
二さん（58）が会席料理のデザートとして考案。外はぱりっとし  
ていて中が甘い意外性が好評で、1個120円でばら売りを始めて  
人気商品になった。そこで販売に本腰を入れようと、商品名を付け  
てパッケージを制作した。

レストランで販売しながら浸透を図り、商標登録が終われば本格的な販路拡大に乗り出  
す考え。同会は知的障害者向けの就労支援事業所を運営しており、商品の袋詰めやシール  
貼り作業は障害者に担ってもらう。「売れ行きが上げれば障害者の工賃にも反映できる」と  
期待する山内理事長。

まんじゅうの天ぷらを縮めた「まん天」の名称は「満点」にも通じる。「受験生の合格祈  
願にもお薦め。縁起のよいお土産や贈り物としてアピールしたい」と山内理事長は意気込  
んでいる。

### 障害者の給食費「賃金より高く」 京都、軽減制度存続訴え



京都新聞 2017年11月30日  
障害者の食費負担を軽減する制度の存続を国に求めること  
を決めた宇治市障害者施設保護者連絡協議会の会合（同市  
宇治・市総合福祉会館）

障害者施設に通う利用者の食費負担を軽減する  
制度が廃止される可能性が高まっているとして、京  
都府の宇治市障害者施設保護者連絡協議会は29  
日、制度の存続を国に求めることを決めた。「この  
ままだと障害者が働いて得る賃金より、給食費が高  
くなる」など切実な声が上がっている。

制度は「食事提供体制加算」で、施設が利用者に出す食事を1食650円と計算し、う  
ち300円を公費で補填（ほてん）している。障害者自立支援法（現・障害者総合支援法）  
で食費は原則として全額自己負担とされたが、激変緩和措置で同制度は延長されてきた。

延長の期限が来年3月末に迫り、厚生労働省の報酬改定検討チームは27日の会合で「延

長しない方向で検討してはどうか」との考え方を示し、廃止の方向性をにじませた。

しかし宇治市では、障害者施設の利用者が得る賃金は月1万円以下が大半で、全額自己負担した場合の食費約1万4千円を下回る。知的障害者の保護者でつくる同協議会が29日に市内で開いた会合では「弱いものいじめだ」「子どもの将来のための蓄えまで減ってしまう」と、疑問や不安の声が相次いだ。

国の予算編成が大詰めを迎える中、同協議会は近く保護者の声を集め、与野党の地元国会議員を通して制度存続を厚労省に働き掛ける。

## 障害者通所施設の食費 全額自己負担案を提示 厚労省

しんぶん赤旗 2017年11月30日

通所施設を利用する低所得の障害者に対する食費に関して、厚生労働省は29日までに、来年度から全額自己負担とする案を示しました。障害者は重い負担増を強いられることとなります。

通所施設利用の障害者の食費に関しては負担軽減措置が取られており、月22日施設利用の場合、現在は食費負担が月約5千円です。軽減措置が廃止されると、約1万4千円に負担が重くなります。

負担増になるのは、就労支援や生産活動、入浴、食事など障害者の日中活動を支援する事業所を利用する障害者。生活介護や就労継続支援B型のサービスだけでも、全国で延べ約50万人が利用しています。このうち事業所の7割が、軽減措置の対象になっています。

障害者自立支援法が2006年4月に施行され、通所施設や短期入所を利用した場合、食費は原則として全額自己負担になりました。それまでは食費のうち食材料費だけの自己負担だったため、同法施行後3年間は負担軽減措置が取られていました。

障害者団体からの強い要望から、これまで3回の報酬改定では、期限を延長してきたと同省は説明します。

一方、今回の負担軽減廃止の背景として、厚労省は障害者自立支援法違憲訴訟原告団・弁護団との基本合意(10年1月)などで低所得者の利用負担は無料になっていると説明。93・3%の人が無料で、給付全体に占める利用者負担の割合は0・26%だとしています。

### 暮らしの実態みず

生活介護などの通所施設を利用する障害者の多くは、年金と工賃が主な収入源です。障害者団体「きょうされん」の実態調査(2016年5月)では、98・1%の障害者が年収200万円以下です。こうした状況で食費負担増となれば、多くの障害者の手元には自由に使えるお金がこれまで以上に少なくなります。

日本障害者センターの山崎光弘事務局次長は「政府は障害福祉サービス給付全体に占める自己負担割合がわずかだというのが、障害者本人の暮らしぶりをみていない」と批判します。

障害者への負担増をめぐっては、障害が重いほど負担も重くなる障害者自立支援法に対し全国の障害者が08年から違憲訴訟を起こしました。

和解にあたり国と結んだ「基本合意」は、「障害者の人間としての尊厳を深く傷つけたことに対し、…反省の意を表明するとともに、この反省を踏まえ、今後の政策の立案・実施にあたる」と明記しています。そのうえで、「当面の措置」として低所得者の利用負担を無料としたのです。

にもかかわらず再度、負担増を押し付けることは「基本合意」の趣旨にも反し、許されることではありません。(岩井亜紀)

## 東京都 「自画撮り」被害防止で罰則付き条例改正案提出へ

東京都は、中学生や高校生によるいわゆる「自画撮り」の被害を防ぐため、子どもが拒否しているのに画像を送るよう求めた段階で、取り締まることができる罰則付きの条例の改正案を、来月1日から始まる都議会に提出することになりました。

中学生や高校生がインターネットで知り合った相手から自分で撮影した裸の画像を送るよう求められるいわゆる「自画撮り」をめぐるっては、現在の法律では、脅迫行為がなければ取締まりが難しいことから都の有識者による協議会は、ことし5月画像を送るよう求めた段階で取り締まることができる罰則付きの条例改正を求める報告書をまとめました。

これを受けて、都が罰則の内容などを検討した結果18歳未満の子どもが拒否しているのに、みずから撮影させた裸の画像など送るよう求める行為を禁止する規定を新たに設け、違反した場合は、30万円以下の罰金とする都の青少年健全育成条例の改正案を、来月1日から始まる都議会に提出することになりました。

成立すれば、画像を送るよう求めた段階で取り締まることができる全国初の条例となります。加害者が都内に住んでいるかどうかは問わないことにしていて、都は、来年2月1日からの施行を目指しています。

**引きこもり40歳以上33% 京都府内で初の実態調査** 京都新聞 2017年11月30日

京都府は29日、引きこもりに関する初の実態調査結果を公表した。府内で1134人を把握し、このうち10年以上引きこもっている人は28.4%に上った。年齢別では40歳以上の中高年が33.2%を占めており、引きこもりの長期化・高齢化の傾向が浮き彫りになった。

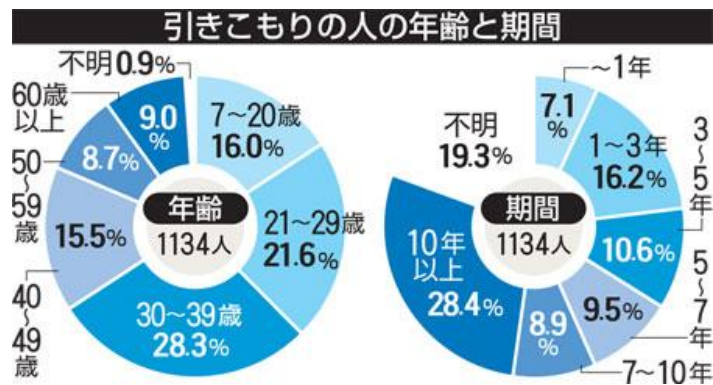
厚生労働省は半年以上にわたり自室を出なかつたり、趣味や買い物などの用事でのみ外出したりする人を「引きこもり」と定義。内閣府は昨年9月の調査で引きこもりの人が全国で約54万人いると推計したが、40歳以上は含まれない。府の調査は、中高年も含めた引きこもりの実態を把握しようと、府民生児童委員協議会と民間支援団体の協力を得て今年6～11月に独自で実施した。

本人や家族などから聞き取りできた1134人のうち、30代が28.3%と最多で、20代（21歳～）21.6%、7歳～20歳16.0%、40代が15.5%と続いた。60歳以上が9.0%、50代も8.7%いた。引きこもりの期間は「10年以上」が28.4%と最も多く、「1～3年」の16.2%を大きく上回った。

引きこもりになったきっかけは、「不登校」が24.0%と最多。「職場になじめなかつた」（10.1%）、「人間関係」（10.0%）、「過去の病気」（7.2%）、「就職活動に失敗」（同）と続いた。

家計状況については、生活保護受給者と「どちらかと言えば苦しい」と回答した人を合わせた生活困窮者が24.3%に上り、「どちらかと言えばゆとりがある」の23.5%を上回った。特に、生活困窮者の割合は50代が33.3%、40代が30.1%と、親の援助を受けやすい若年層に比べて高い傾向が見られた。

府民生活部の勝目康部長は「引きこもりが長期化すればするほど社会復帰が難しくなる。調査結果を基に、早期支援や居場所づくり、就労支援などの対策をさらに進めたい」と話した。

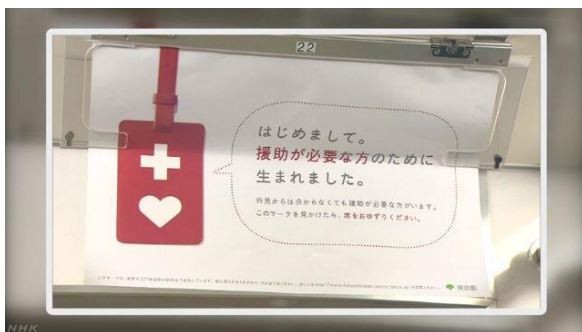


## 知っていますか？ “助けて” のマーク



NHK ニュース 2017年11月29日  
赤地に白の十字とハート。何のマークかご存じでしょうか。  
名前は「ヘルプマーク」。  
“助けてほしい”という大事なメッセージが込められているんです。  
東京オリンピック・パラリンピックに向けて全国共通の規格にも採用され、今後、目にする機会が増えるかもしれません。  
(名古屋局記者 松岡康子/ネットワーク報道部記者 佐藤滋 野田綾)

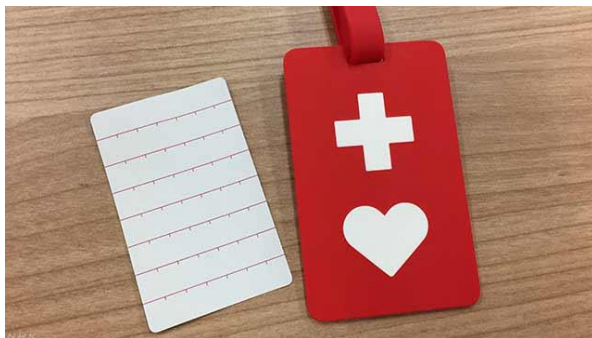
ヘルプマークは、東京都が5年前に作りました。  
きっかけになったのは、外見では分からない病気や障害がある人たちの声。  
周りの人に理解や配慮、援助を求めたいとき、そのための方法がないというのです。  
ヘルプマークの対象となるのは、心臓や肺、腎臓、腸などの内臓や免疫機能に障害がある「内部障害」の人のほか、義足や人工関節を使っている人、がんや難病の患者、認知症の人、知的障害のある人、耳が不自由な人、それに妊娠初期の女性など、援助を必要とするあらゆる人たちです。  
一見、健康そうに見えても、疲れやすい人や電車のつり革につかまる姿勢すらつらい人がいます。突然、意識を失って倒れることがあり、立っているだけで危険な場合もあります。ヘルプマークはこうした人たちが身につけ、「事情を分かってほしい。そして、もしものときは助けてほしい」…そんな気持ちを伝える手段なのです。



### きっかけは当事者の声

地下鉄車内の啓発ポスター（2012年）  
ヘルプマークは、東京都が5年前に作りました。  
きっかけになったのは、外見では分からない病気や障害がある人たちの声。  
周りの人に理解や配慮、援助を求めたいとき、そのための方法がないというのです。  
ヘルプマークの対象となるのは、心臓や肺、腎臓、腸などの内臓や免疫機能に障害があ

る「内部障害」の人のほか、義足や人工関節を使っている人、がんや難病の患者、認知症の人、知的障害のある人、耳が不自由な人、それに妊娠初期の女性など、援助を必要とするあらゆる人たちです。  
一見、健康そうに見えても、疲れやすい人や電車のつり革につかまる姿勢すらつらい人がいます。突然、意識を失って倒れることがあり、立っているだけで危険な場合もあります。  
ヘルプマークはこうした人たちが身につけ、「事情を分かってほしい。そして、もしものときは助けてほしい」…そんな気持ちを伝える手段なのです。



### 広がるマーク

東京都はこのマークのタグを無料で配っています。  
裏にはシールを貼って、「私は耳が聞こえません。筆談での対応をお願いします」といった

メッセージや、病名やかかりつけの医療機関、家族の連絡先などを伝えることができます。都営地下鉄やバスなどの駅や営業所、それに都立病院などで配り、ことし8月までにおよそ19万個を配布しました。

東京以外の自治体でも配られるようになり、10月末の時点で、青森県、神奈川県、岐阜県、大阪府、広島県など12の都府県や一部の市町村で配布が始まっています。

さらにこのマーク、7月には、J I S = 日本工業規格で定める標準的な規格に追加されました。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本人だけでなく外国人にも分かりやすい案内マークなどを定める際、援助や配慮を必要としていることを知らせる全国共通の表示として採用されたのです。



### 見かけたらどうする？

このマークをつけている人を見かけたら、周りはどうすればいいのでしょうか。

東京都は3つを呼びかけています。

まず、「電車やバスで席を譲る」。


そして、「駅や商業施設で声をかけるなどの配慮を」。

立ち上がる、歩く、階段を上り下りするなどの動作が難しい人もいます。

支援が必要かどうか声をかけて確かめ、手をさしのべてほしいというわけです。

そして3つめは、「災害時、安全に避難できるよう支援する」。すぐに状況を把握できなかつたり、1人で避難できなかつたりする場合があります。介助や誘導を呼びかけています。

**このマークを付けている人を見かけたら**



- 電車やバスで席を譲る
- 駅や商業施設で声をかけるなどの配慮を
- 災害時、安全に避難できるよう支援する

### “お守り”として

東京都には、マークを使い始めた人からさまざまな声が寄せられています。「これまでは優先席に座っていると注意されたが、マークをつけるようになって気持ちが楽になった。“お守り”になっている」（義足や人工関節を使う人）

「通院のために出かけるが、薬の副作用で立っているのもつらい。気付いて

ほしくてマークをつけている」（がん患者）

「知的障害がある子どもが迷子になったとき、駅員さんがマークに気付いて、声をかけながら見守ってくれていた」

腎臓病の患者などおよそ8万人で作る「全国腎臓病協議会」も、ヘルプマークの普及に期待を寄せています。患者は、人工透析を受けたあと血圧が下がって気分が悪くなる場合があります。

また、長年、透析を受けると、骨や関節に痛みが出たり骨折しやすくなったりします。協議会は会報などでヘルプマークを紹介し、普及を図っているということです。



内臓に障害がある人などを支援するNPO法人「ハート・プラスの会」は、東京都よりも早く、十数年前から独自のマークを作って活動を続けてきました。

みずからも心臓病を患う代表の鈴木英司さんは「かつては『内部障害』ということば自体、

ほとんど知られていませんでした。ヘルプマークは私たちのこれまでの活動を踏まえた取り組みで、見えない障害や病気への理解がより深まってほしい」と話しています。

**でも、「誰も声かけてくれなかった」**

徐々に利用が広まるヘルプマークですが、大きな課題があります。

一般の人に、まだ十分知られていないのです。

三重県四日市市の小崎麻莉絵さんは、血液の成分が正常に作れない「骨髄異形成症候群」という病気を患っています。名古屋市内まで電車で通勤していますが、体のだるさや貧血などに悩まされ、確実に座れる電車を待って通っています。

優先席に座っていたところ、「若いのに、よくそんなところに座るとるな」と言われたことがあるそうです。そこで、ヘルプマークを手に入れ、外出するときはいつも身につけるようにしました。

ところが通勤中、電車を降りて地下の改札を出たところで気分が悪くなり、うずくまっていたことがありましたが、誰も声をかけてくれませんでした。

そのときは、通りがかりの人のズボンのすそをつかんで呼び止め、介抱してもらって地上まで出たそうです。周りの人がマークの意味を知らず、「助けて」のメッセージが伝わらなかったのです。



当時の様子を再現

**皆さん、知っていますか？**

ヘルプマークはどの程度、知られているのでしょうか。

東京・渋谷で聞いてみました。さまざまな年代の男女に尋ねたところ、知っている人と知らない人がほぼ半数でした。

同じ学校に通う女子高校生2人は、心臓病を患う同級生が持っているため、学校でマークについての説明を受けたそうです。

「本当は助けてほしいけれども、言い出せないことがすごくあるみたいです。なので、もうちょっとみんなに知ってもらえれば…」と、同級生の気持ちを代弁してくれました。

このほか、「高齢の親族が持っているので知っている」という人も何人かいました。

一方、「全く知らない」という40代の女性、「CMなどで、もうちょっとアピールしたほうがいいですね」と話していました。20代の男性も「マタニティマークぐらい認知度が上がればいいですね。今度、見かけたら席を譲ります」と力強く話してくれました。

東京都も、認知度の低さを深刻に受け止め、駅にポスターを貼ったり、企業や団体にリーフレットを配ったりしています。さらに、ヘルプマークを紹介する動画を作り、ホー



ムページで公開したり、繁華街の大型ビジョンで放映したりしているということです。これまで啓発活動を続けてきた東京でこんな状況ですから、ほかの地域では認知度がもっと低いかもしれません。

### 安心して外出できる社会を

つらい経験をした小崎さんも、多くの人に知ってもらおうと活動しています。

企業関係者が集まった名古屋市内の会合に出向いて講演し、「気付いてほしいからマークをつけているので笑顔で声をかけてください。声をかけられると安心するし、うれしくなります」と呼びかけました。

講演を聞いた人からは、「全然知らなかったのだから聞いてよかった」「見かけたら声をかけます」といった感想が聞かれました。小崎さんはこう話していました。

「誰もが普通に知っているマークになるまで頑張らないと、と思っています。病気や障害があっても、安心して外出できる社会であってほしい」

赤と白の手のひらサイズのマーク。“助けてほしい”のメッセージを受け取る人がいて、はじめてその役割を果たせます。「これ、知ってますよ！」…そんなひと言から自然な助け合いが生まれるといいですね。



### 高崎健康福祉大 母の育児放棄は胎児期に決まる 研究発表



毎日新聞 2017年11月29日  
高崎健康福祉大の下川哲昭教授らのグループの研究成果を示した資料  
マウス実験 原因にホルモン「プロラクチン」

高崎健康福祉大（群馬県高崎市）の下川哲昭教授らの研究グループは29日、母親になった時に育児放棄（ネグレクト）するかどうかは胎児期に決まるというマウス実験の研究成果を発表した。胎児期に、母体からホルモン「プロラクチン」を適正に受容しないと、将来育児放棄

する可能性が高いことが分かったという。研究成果は米国科学アカデミー紀要（電子版）に掲載された。

実験では、CIN85という遺伝子が欠損している「ネグレクトマウス」を使った。CIN85が欠損すると、授乳や保温など育児行動を促すホルモンと考えられている「プロラクチン」の分泌が低下する。正常なマウスと同様に妊娠・出産するが、育児を放棄してしまうため、生まれた子は2～3日後に死んでしまうという。

研究チームは、ネグレクトマウスと正常マウスについて、互いの卵管に胚（受精卵）を交換移植し、誕生した子が将来、妊娠・出産した後に育児をするかどうか観察した。その結果、ネグレクトマウスから生まれたマウスは強いネグレクト傾向が確認された。一方、CIN85の欠損がない正常なマウスから生まれたマウスは正常に育児をした。

また、妊娠後期のネグレクトマウスにプロラクチンを投与し、生まれたマウスを「里親マウス」に育てさせると、親になった時に73%が育児行動を示したという。一方、妊娠後期に生理食塩水を投与したネグレクトマウスの子のうち育児をしたのは30%にとどま

った。

妊娠中の正常マウスにプロラクチンの分泌を抑制するプロモクリプチンを投与すると、その子は育児行動を示さなかった。下川教授は「今回の成果を応用して、人におけるネグレクト発生のメカニズムを明らかにしたい」と話している。【山本有紀】

### 政策に優先順位を 子どもの貧困対策で提言 大阪日日新聞 2017年11月30日

関西経済同友会は29日、子どもの貧困問題について「就学前教育の優先」「待機児童の解消」「必要な人に必要な支援が届く仕組みづくり」の3点を骨子とする、政府に向けた提言を発表した。「貧困の連鎖を断ち切る効果的な教育投資を」と銘打った提言は、限られた予算の中で政策に優先順位が必要として、就学前教育の充実を最優先した予算配分を要望。

大学教育に関しては一律の無償化ではなく、志と能力があっても経済的に困難な入学希望者を対象に、給付型奨学金制度の拡充で対応すべきだとした。待機児童問題については、「必要なサービスをいつでも誰でも受けることができる」ように保育園、幼稚園をはじめ、障害児などの保育施設の整備、保育士の養成・待遇改善などを求めた。支援の仕組みでは、自治体や学校での子どもを見守る体制の強化に加え、地域や民間での「子どもの居場所づくり」の活性化、各団体の連携の必要性を強調している。同会子どもの貧困委員会の委員長を務める宮川正・大阪ガス常務は「行政と（子どもの貧困問題に取り組む）実際の担い手、企業が情報交換、情報提供できる仕組みをつくってほしい」と意欲を語った。

### 障害児の野球チーム結成 部活に代わる受け皿に レアーズ宗像・北九州 /福岡

毎日新聞 2017年11月29日

北九州市で発達障害の子供たちの放課後等デイサービス施設「あしたのつばさ」を運営する針池栄治さん（46）が、障害があるため学校の部活に入るのが難しい子供たちのための野球部「レアーズ宗像」と「レアーズ北九州」をつくった。発達障害と診断される子供が年々増え、求められるケアは多様化している。【取違剛】

レアーズ宗像（宗像市）とレアーズ北九州（北九州市八幡西区）は小中学生、高校生が対象で障害の軽重は問わない。昨年できた宗像では現在10人前後が毎月2回程度の練習に参加。北九州は今年10月に部員募集を始めた。

「発達障害や知的障害などがある子供たちが思い切り体を動かせる場をつくりたい」。

### 「見守りセンサー」導入の特養に介護報酬加算へ 朝日新聞 2017年11月30日

厚生労働省は来年4月の介護報酬改定で、介護ロボットの一種「見守りセンサー」を導入した特別養護老人ホーム（特養）に対し、夜勤体制を充実した場合の報酬加算を取りやすくする方針を固めた。介護ロボットが報酬の評価対象になるのは初めて。慢性的な介護職員不足の緩和が狙いだ。29日の社会保障審議会（厚労相の諮問機関）の分科会で提案し、大筋了承された。このセンサーは利用者がベッドから起き上がった



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行